

検 査 課

V 検査課の業務概要

当検査課では、「千葉県検査業務運営要領」に基づき検査業務を実施している。

平成28年度に実施した業務は、臨床及び細菌検査業務、食品衛生検査業務、健康危機管理業務、精度管理事業であった。

1. 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてH I V抗体検査 53 件，性感染症対策として梅毒検査を 51 件，肝炎対策として C 型肝炎ウイルス抗体検査及びB型肝炎ウイルス抗原検査を 51 件実施した。また，原子爆弾被爆者健診に係る検査として尿検査を 22 件実施した。

(2) 細菌検査

平常時対策としての腸内細菌検査は，給食施設従事者，食品取扱業者，水道施設従事者及びその他に対する赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌検査を 1,730 件，腸管出血性大腸菌O 1 5 7 検査を 2,008 件実施し，そのうちサルモネラ属菌を 1 件検出した。

2. 食品衛生検査業務

食品衛生法に基づき，収去食品等（豆腐・大豆加工品，給食，弁当・惣菜，旅館ホテル調理品，生食用鮮魚介類，カットフルーツ，洋生菓子，調理パン，冷凍食品等）について検体 826 項目実施し，乳類規格試験として市販の牛乳や発酵乳等について，検体数 3 件，14 項目検査を実施した。

3. 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

腸管出血性大腸菌O 1 5 7 について 2 事案 7 検体，赤痢菌について 1 事案 2 検体，検査を実施した。

(2) 食中毒等，苦情等調査に係わる検査

13 事案について，食品・便・ふきとりの 96 検体 750 項目検査を実施し，黄色ブドウ球菌，サルモネラ属菌，セレウス菌，ウエルシュ菌，エルシニア エンテロコリチカ，ノロウイルスを検出した。

4. 精度管理事業

検査結果の信頼性を確保するため，食品検査については食品衛生法施行規則第 37 条第 3 号の規定により内部精度管理調査，規則第 37 条 4 号の規定により外部精度管理調査を実施した。

(1) 内部精度管理

繰り返し試験と食品検査毎に添加回収試験，陽性対照試験を実施し結果は良好であった。

(2) 外部精度管理

食品薬品安全センター主催の調査に 5 回 5 項目参加し良好な結果であった。千葉県衛生研究所主催の赤痢菌の遺伝子検査（LAMP法）及びノロウイルス検出についても良好な結果であった。千葉県臨床検査技師会主催の免疫血清検査についても良好な結果であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表1- (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			平成26年度	平成27年度	平成28年度
血 液	梅毒	TP法	72	43	51
		STS法	72	43	51
	HIV抗体		74	44	53
	HCV抗体		78	48	51
	HBs抗原		78	48	51
	その他		—	—	—
尿	糖		21	19	22
	蛋白質		21	19	22
	ウロビリノーゲン		21	19	22
	潜血		21	19	22
喀痰	結核菌	塗沫鏡検	—	—	—
		培養	—	—	—
便	寄生虫	塗沫鏡検 ぎょう虫卵	— —	— —	— —

(2) 細菌検査

表1- (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成26年度	5,144	1,190	382	240	3,332
平成27年度	3,929	993	225	234	2,477
平成28年度	3,738(1)	1,003(1)	115	136	2,484
赤痢菌・チフス菌・パラチフスA 菌・サルモネラ属菌※1	1,730(1)	398(1)	37	68	1,227
腸管出血性大腸菌O157	2,008	605	78	68	1,257
その他の菌	—	—	—	—	—

※1：サルモネラ属菌は希望者のみに実施

()内は陽性数の再掲

サルモネラ属菌：1名

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表 2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
検 体 数		213	202	200
項 目 数		949	862	826
項目内訳	細菌数 (生菌数)	192	187	194
	大腸菌群の有無	186	179	186
	黄色ブドウ球菌	174	162	176
	サルモネラ属菌	127	115	100
	腸炎ビブリオ	21	21	18
	腸炎ビブリオ最確数	10	10	10
	カンピロバクター	59	30	—
	E. coli の有無	24	22	14
	E. coli の最確数	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 O157	126	106	128
	腸管出血性大腸菌 O26	15	15	—
	腸管出血性大腸菌 O111	15	15	—
	腸管出血性大腸菌 O103	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 O121	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O145	—	—	—	

(2) 乳類規格試験

表 2 - (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
検 体 数		2	3	3
項 目 数		8	14	14
項目内訳	細菌数 (生菌数)	1	2	2
	大腸菌群の有無	2	3	3
	乳酸菌数	1	1	1
	比重	1	2	2
	酸度	1	2	2
	無脂乳固形分	1	2	2
	乳脂肪分	1	2	2

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

表3-(1)-ア 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
平成26年度	—	—	—	—	—	—
平成27年度	3	13	7	6	—	—
平成28年度	3	9	2	7	—	—
コレラ菌	—	—	—	—	—	—
赤痢菌	1	2	—	2	—	—
チフス菌	—	—	—	—	—	—
パラチフスA菌	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O157	2	7	2	5	—	—
腸管出血性大腸菌 O26	—	—	—	—	—	—

表3-(1)-イ 感染症発生に伴う検査の検出菌内訳

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
コレラ菌	—	—	—	—	—	—
赤痢菌	—	—	—	—	—	—
チフス菌	—	—	—	—	—	—
パラチフスA菌	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O157	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 O26	—	—	—	—	—	—

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他	
事案数								
平成26年度	10	検体数	125	4	93	—	28	—
		項目数	2,457	80	1,817	—	560	—
平成27年度	11	検体数	124	21	72	—	31	—
		項目数	1,964	401	943	—	620	—
平成28年度	13	検体数	96	3	86	—	7	—
		項目数	750	3	607	—	140	—
項目 内 訳		コレラ菌	32	—	25	—	7	—
		赤痢菌	32	—	25	—	7	—
		チフス菌	32	—	25	—	7	—
		パラチフスA菌	32	—	25	—	7	—
		腸炎ビブリオ	32	—	25	—	7	—
		NAGビブリオ	32	—	25	—	7	—
		ビブリオ ミミクス	32	—	25	—	7	—
		ビブリオ フルビアリス	32	—	25	—	7	—
		黄色ブドウ球菌	32	—	25	—	7	—
		サルモネラ属菌	32	—	25	—	7	—
		セレウス菌	32	—	25	—	7	—
		ウエルシュ菌	32	—	25	—	7	—
		カンピロバクター	35	3	25	—	7	—
		エルシニア エンテロコリチカ	32	—	25	—	7	—
		エロモナス フィドロフィア	32	—	25	—	7	—
		エロモナス ソブリア	32	—	25	—	7	—
		プレジオモナス シゲロイデス	32	—	25	—	7	—
		下痢原性大腸菌	32	—	25	—	7	—
		腸管出血性大腸菌 0157	32	—	25	—	7	—
		腸管出血性大腸菌 026	32	—	25	—	7	—
		ノロウイルス	81	—	81	—	—	—
		ロタウイルス	13	—	13	—	—	—
		アデノウイルス	13	—	13	—	—	—
		大腸菌群	—	—	—	—	—	—
		細菌数(生菌数)	—	—	—	—	—	—
		その他()	—	—	—	—	—	—
検出 菌 等 内 訳		黄色ブドウ球菌	7	—	7	—	—	—
		サルモネラ属菌	1	—	1	—	—	—
		セレウス菌	2	—	1	—	1	—
		ウエルシュ菌	2	—	2	—	—	—
		エルシニア エンテロコリチカ	1	—	—	—	1	—
		ノロウイルス	54	—	54	—	—	—
		ロタウイルス	2	—	2	—	—	—

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表4－(1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数（生菌数）	40
繰り返し試験	細菌数（生菌数）	4
	牛乳理化学	—
陽性対照	腸管出血性大腸菌O157	13
	腸管出血性大腸菌O26	—
	腸管出血性大腸菌O111	—
	腸管出血性大腸菌O103	—
	腸管出血性大腸菌O121	—
	腸管出血性大腸菌O145	—
	黄色ブドウ球菌	17
	大腸菌	25
	サルモネラ	10
	腸炎ビブリオ	4

(2) 外部精度管理

表4－(2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人 食品薬品安全センター	大腸菌群検査 一般細菌数測定検査 黄色ブドウ球菌検査 サルモネラ属菌検査 E. coli
千葉県衛生研究所	赤痢菌検査 ノロウイルス検査（RT-PCR法）
千葉県臨床検査技師会	梅毒TP抗体検査（定性） HBs抗原検査（定性） HCV抗体検査（定性）